

平成 31 年度「歯科衛生士離職防止講習会」アンケート結果

1. 調査方法

調査用紙による無記名アンケート方式

2. 調査目的

昨今の歯科衛生士は、診療所等における疾患への対応のみならず、医科歯科連携のチーム医療や在宅歯科診療等において他の職種との橋渡しを行うコーディネーターとしての役割も期待されており、歯科衛生士への需要は増すばかりである。しかしながら、就業している歯科衛生士数は、免許保有者の5割弱に止まっているため、依然として歯科医院における歯科衛生士の不足は深刻な状況である。

そこで歯科衛生士雇用の実態、雇用主の意識を把握し、今後の歯科衛生士人材確保の参考とする。

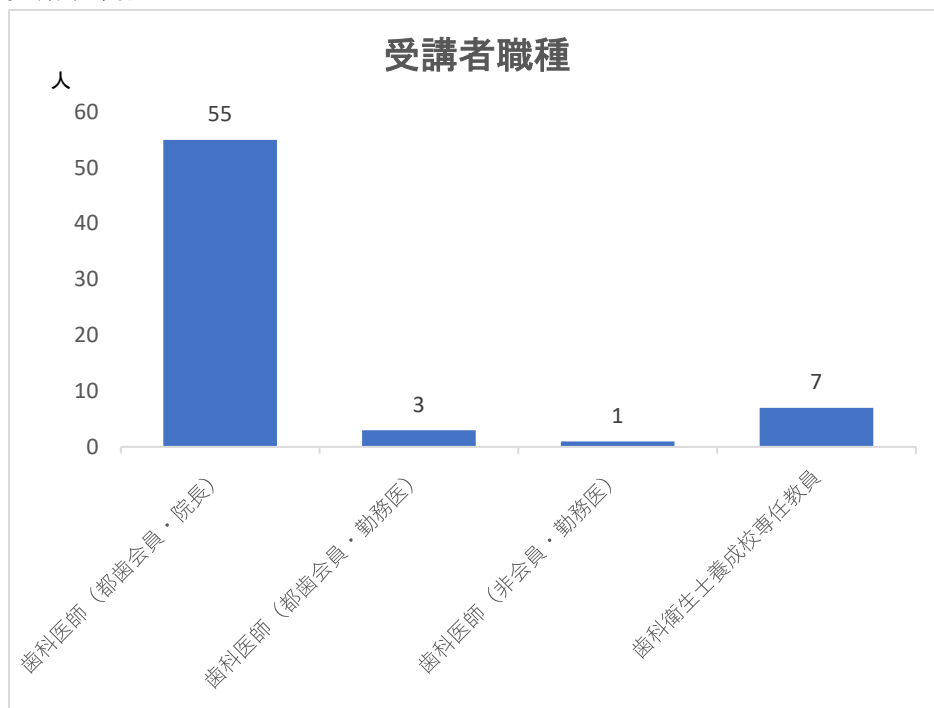
3. 資料回収 平成 31 年 4 月 4 日

4. 調査対象 離職防止講習会参加者 89 名

5. 回答数（回収率） 66 件（74.2%）

6. 結果

(1) 受講者属性

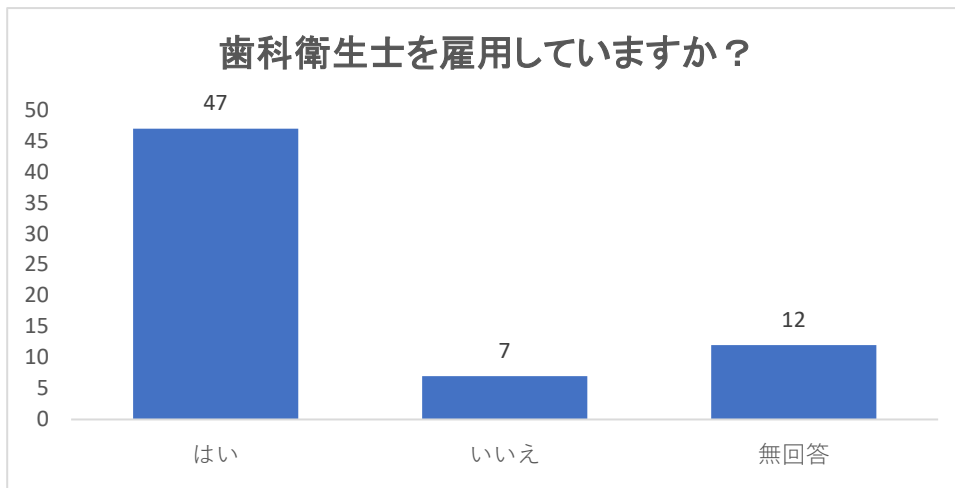


地区

麻布赤坂	お江戸 日本橋	京橋	日本橋	丸の内	台東	麻布赤坂
2	1	2	1	2	2	2
江戸川	江東	本所	葛飾	江東		
1	3	2	3	3		

渋谷	新宿	中野	四谷牛込		
4	2	4	1		
世田谷	玉川	目黒			
2	2	1			
板橋	北	豊島	練馬		
2	1	1	2		
昭島	調布	八南	東村山	東大和	町田
1	1	3	1	1	1
無回答	合計				
16	66				

(2) 歯科衛生士雇用状況



1) 歯科衛生士を現在雇用していない医療機関

○復職歯科衛生士雇用経験（1名）

他医院退職後離職機関4～6年未満非常勤歯科衛生士を雇用したが、今後非常勤歯科衛生士雇用考えてはいない

○今後の雇用について

- ・環境が整っていない（1名）
- ・雇用を考えている（1名）
- ・給与次第で考える（1名）
- ・非常勤歯科衛生士の雇用

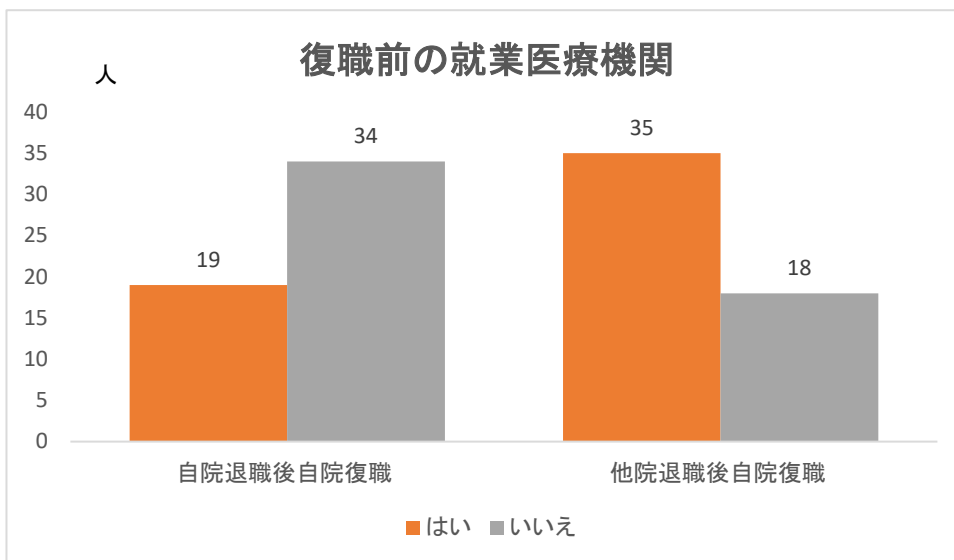
パートタイムの歯科衛生士の雇用は考えていない	4
これからパートタイムの歯科衛生士も雇用してみたい	3

2) 歯科衛生士を現在雇用している医療機関における非常勤歯科衛生士の雇用について

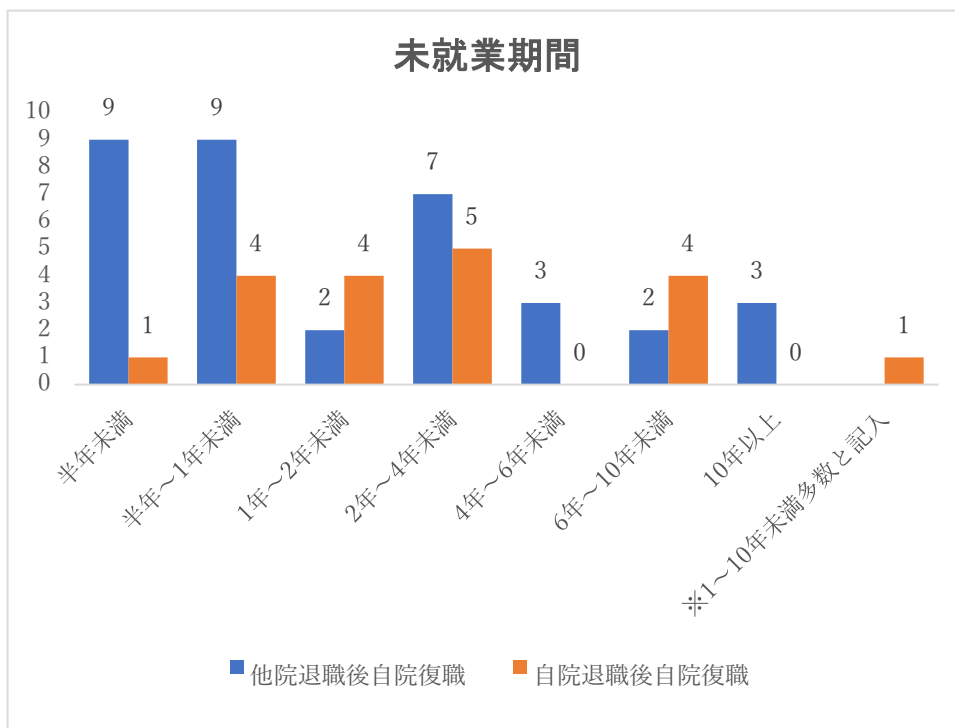
パートタイムの歯科衛生士の雇用は考えていない	4
既にパートタイムの歯科衛生士を雇用している	21
これからパートタイムの歯科衛生士も雇用してみたい	10
無回答	12

(3) 復職歯科衛生士雇用状況

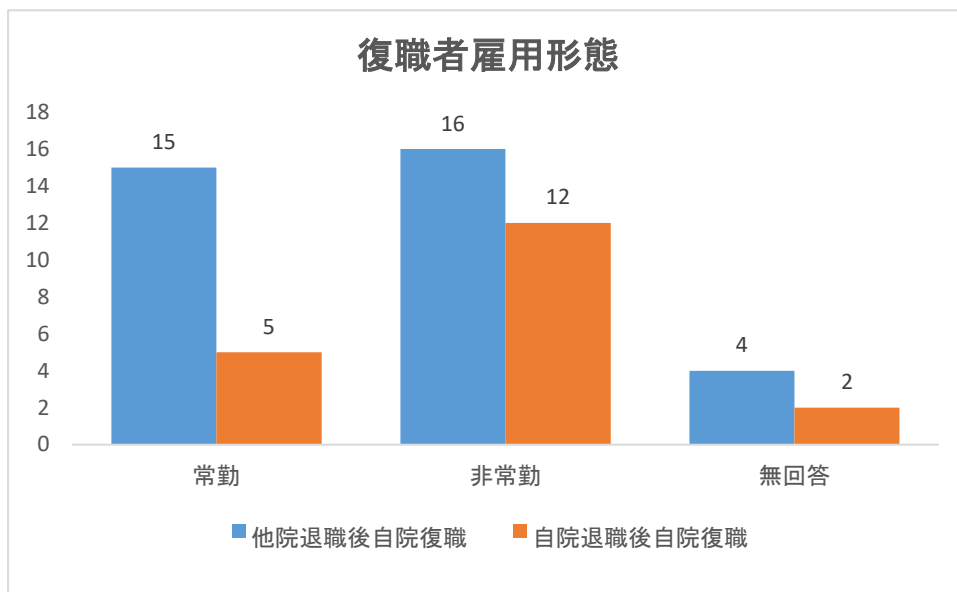
1) 離職時医療機関



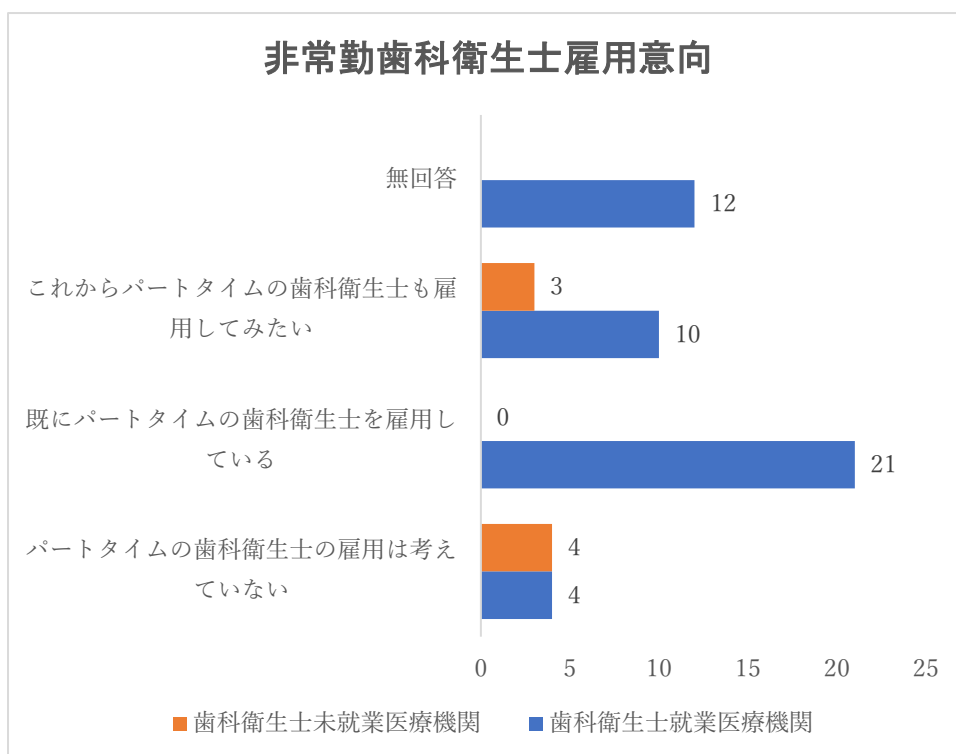
2) 未就業期間



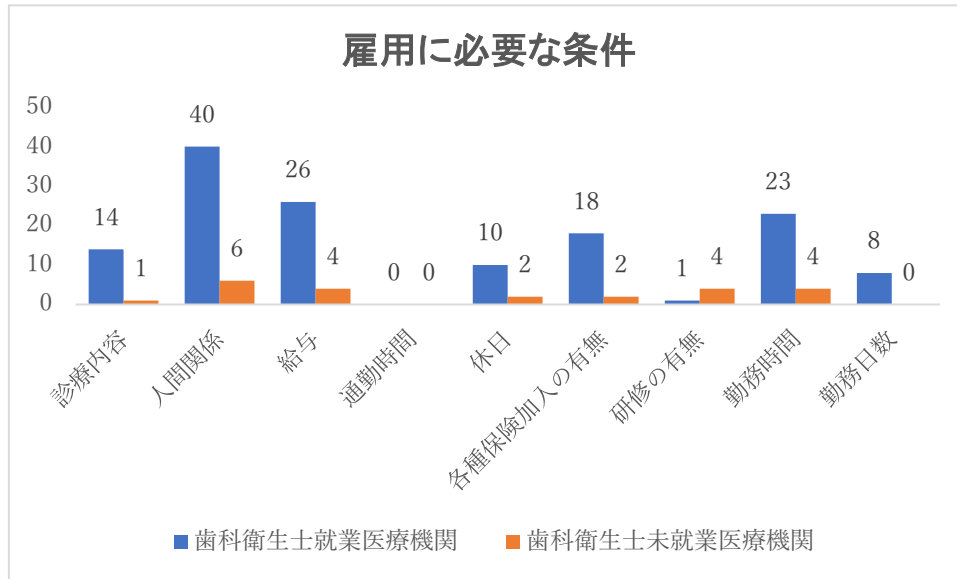
3) 雇用形態



(4) 非常勤歯科衛生士の雇用について



(5) 雇用に必要な条件



*その他の条件（歯科衛生士雇用医療機関）

場所

教育

個人それぞれの評価をきちんとしているか。

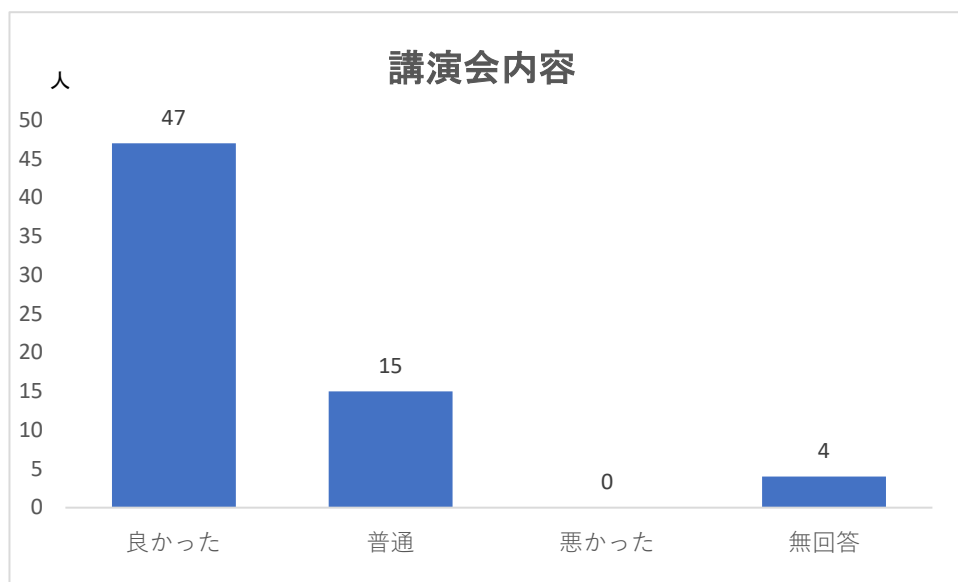
やりがいがあるかどうか。

(6) 歯科衛生士を雇用する際に、働きやすい環境への工夫について

- 定期的に個人面談を施行
- 時短勤務や週休3日制などそれぞれのライフスタイルに合わせた雇用条件にしています。
- 勤務時間の融通
- 勤務時間、曜日等、応相談している。
- シフト制にしている。歯科衛生士のみ雇用している。
- 勤務時間、休みが取りやすい環境（DH同士で休みを交代し合う関係）、人間関係（コミュニケーションの円滑化）、誕生日プレゼント、保育士の確保など、子育てをしながらパートで働ける環境づくり及び患者担当制（責任を持たせる）。
- 歯科衛生士としてやりがいをもって頂く工夫
- 残業させない。人間関係を配慮する。（責任者（婦長）などを決めて、院長は下請けさせる）有給休暇を取りやすい環境にする。
- 条件の整備
- パートが子供の都合で急に休みたいと言った場合、絶対に文句を言わず、休んでもらうようにしている。
- 有給休暇を取れる環境。入局時のオリエンテーション。理念の説明。
- 今は特にありません。雇用したいと思う衛生士の希望に沿うように考えています。
- 子育て中の歯科衛生士を雇用する際には、勤務日数、時間に自由（急な休みなどを含め）を与えるようにしている。

- 保険、休日、労働時間、パワハラなどに気を使う。
- ペリオ、矯正等、技術の向上が必要な分野においての研修を行う。また、春休み、秋休み等、自由にとらせる等、休日の増加。
- 他の業種で行っている労務管理方法を参考に、労働者本人の意見を聞きながら労働条件をその都度変更しています。
- 労働条件は守るように努力している。

(7) 講演内容について



(8) 今後講習会内容・意見

会員

- スタッフ間の関係を築くための講演。指導のしかた、叱り方、モチベーションを上げる方法など。
- 希望する勤務形態、業務内容（保険、自費）
- 実際のDHの話 現在の歯科衛生士の意見
- 口腔機能関連への歯科衛生士の具体的な関わらせ方について
- 雇用者が求めていること。実態について調査結果があれば知りたい。教員としては学生と雇者の溝を埋めたい。
- 雇用契約に関する講演をじっくり聞きたい。
- 他の医療職（例えば看護師）の実態
- DHのモチベーションを維持、継続させるための秘訣について
- 歯科衛生士不足もありますが、女性歯科医師も不足しています。離職後復帰できるような研修プログラムがあって良いと思いました。いろいろなセミナーがありますが、もっと基礎的なタービンや機械の取り扱いやミラーテクニックなど、当たり前のことを学生実習のようにできたら良いかもしれません。
- 今日の講演で大体わかりました。

専任教員

- 最新のデータ（復職支援をスタートし現在に至る）を基に当初予定していた就業数値に到達しているのか。また今後（5年後、10年後など）の到達目標値が示されていない点は改善して頂きたい。期待しています。
- 歯科衛生士と歯科助手の分業・差別化がきちんとできているか。（業務内容、給与）産休、育休などの待遇が整備されているか。歯科助手の給与が良いため、歯科衛生士を目指そうと思わず、歯科助手を継続しているケースが増えている。保険点数を請求するためだけに歯科衛生士を雇用するのではなく、きちんと人材育成をしていただきたいと思います。（すべての歯科医院ではありません。）